

リーディングDXスクール事業 【GIGA×指導の工夫・改善】

西米良村立西米良中学校（宮崎県）【指定校】

【GIGA×指導の工夫・改善】自己決定・自己評価に基づく複線型の学びの充実

<考察>

本年度より子供の学び方の確立するため、複線型の授業を展開している。

本村においては、子供の学びを支援するために、見取り・指導の流れを、自己決定の場だけでなく、振り返りの場においても、学習ログを活用して、学びの連続性につなげている。

きめ細やかな指導につなげていくために、見取り場面を、自己決定の場（見取り①）、途中参照・他者参照による協働編集をしている場（見取り②）、振り返りの場（見取り③）、習熟場面（見取り④）で行っている。

また、見取り②・見取り④において、机間指導、クラウドを活用した指導の中で、個に対する丁寧な指導を行っている。

本年度取り組んでいく中で、自己決定し、学びを進める流れが徐々にできつつあり、振り返り場面で行っている記録（学習ログ）の内容も充実してきた。

教師の関わり方も、試行錯誤しながらではあるが、適宜適切な指導にもつながってきていている。

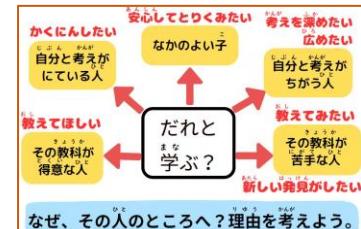
本村は、1クラス10名程度の生徒の在籍であるため、グループの構成が難しい状況がある。個人、ペアで取り組む生徒が多く、多様な組み合わせが難しいのが現状である。



子供の学習状況の的確な把握



探究の過程を自己決定して、学びに入る。



個に対する丁寧な指導①

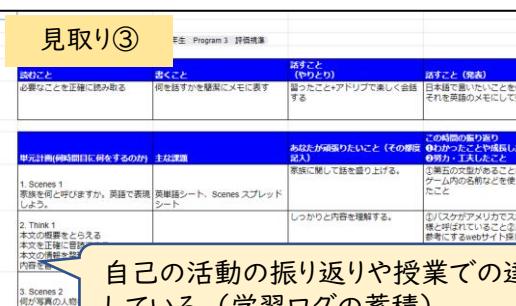
見取り②



個に対する丁寧な指導①

机間指導、クラウド上の確認の中で、個別支援につなげている。

見取り③



自己の活動の振り返りや授業での達成内容を確認している。(学習ログの蓄積)

見取り④



机間指導やAI型ドリルの活用を確認しながら、個別指導に活かす。

個に対する丁寧な指導②